

ていんさぐぬ花

【作曲】沖縄県民謡

□□□□□

ていんさぐぬ花や

爪先(ちみさち)に染(す)みてい

親(うや)ぬ言(ゆ)し事(ぐとう)や

肝(ちむ)に染(す)みり

夜(ゆる)走(は)らす船(ふに)や

子の方(にねふわ)星(ぶし)見(み)当(あ)てい

我(わ)ん生(な)ちえる親(うや)や

我(わ)んどう見(み)当(あ)てい

天(ていん)ぬ群(ぶり)星(ぶし)や

読(ゆ)みば読(ゆ)まりゆい

親(うや)ぬ言(ゆ)し事(ぐとう)や

読(ゆ)みんならん

言(い)ち足(た)らん事(ぐとう)や

一人(ちゆい)たれいだれい

互(たげ)に補(うじ)なてる

年(とうし)や寄(ゆ)ゆる

誰(たる)が上(うい)になてィん

仕情(しなさき)ど頼(たね)む

情ねいん浮世(うちゆ)

渡いぐりしゃ

ていんむぐぬ花

【作曲】沖縄県民謡



1.

ていんむぐぬ花む

爪先(ちみさち)に

染(す)みてい

親(うや)ぬ言(か)し

事(こと)む

肝(ちむ)に

染(す)みら

てらんむぐぬ花

【作曲】沖縄県民謡

2.

夜(ゆゑ)走(は)ら

船(ふね)や

子(こ)の方(にねらわ)

星(ぶし)見(み)

当(あ)てい

我(わ)ん生(な)ち

親(うや)や

我(わ)んど(み)う(み)見

当(あ)てい

てらんむぐぬ花

【作曲】沖縄県民謡



3.

天

(てらん)

ぬ群

(ぬぐ)

星

(ぶし)

や

読

(ゆ)

みば

読

(ゆ)

まらしが

親

(ちう)

ぬ

言

(ゆ)

し事

(じゆん)

や

読

(ゆ)

みんならん

4.

言(い)ち足(た)ら

事(こと)む

一人(ちひ)たれい

だれい

互(たがひ)に

補(うけ)なしてゐる

年(とし)む

寄(よ)めめ



5.

誰(たる)が

上(うじ)になていん

仕情(しなむね)ど

頼(たね)む

情ねいん

浮世(うきよ)

渡いぐらしあ